

「今年の雪 速報会 2009-10」

主催団体：NPO法人水環境技術研究会、(社) 日本雪氷学会北信越支部

(独) 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

趣旨：この会は今年で6回目である。早い情報は新鮮味があるという意味なのか、毎回70名を越す参加者が集まっている。今冬の雪は“暖冬多雪”ではないか、と言う人もいる。確かに一時期多量の降雪があった。しかも新潟市、柏崎市、上越市など海岸地方で大雪となった。しかし、雪がやむと気温が上がり、融雪が一気に進んだ。そのためか、雪崩も多数発生したようである。

このように特徴ある冬であった。ひょっとすると地球温暖化傾向の下、将来を暗示する冬であったのかもしれない。この冬を振り返り、将来の雪氷防災を考える、それがこの集会である。

日時：2010年4月21日(水) 13:30～17:00 (受付開始 13:10)

場所：アトリウム長岡 (長岡市弓町1-5-1 Tel. 0258-30-1250)

プログラム：

	総合司会	町田 誠 (NPO法人水環境技術研究会)
13:30	開会の挨拶	早川典生(NPO法人水環境技術研究会)
	前半司会	山口 悟 (防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)
13:35 - 13:55	「新潟地域及び全国の積雪深分布の特徴－平成18年豪雪などとの比較から－」 河島克久 (新潟大学 災害復興科学センター)	
13:55 - 14:15	「2009/10年冬の気循環場の特徴と日本の天候」 本田明治 (新潟大学 理学部)	
14:15 - 14:35	「上越地方の大雪－想定外だった“海岸に近い方が多い”－」 渡辺伸一 (㈱アルゴス)	
14:35 - 14:55	「今冬、新潟県内に降雪をもたらした気象現象の特徴」 長峰 聡 (気象庁 新潟地方気象台)	
14:55 - 15:15	(討議)	
15:15 - 15:35	(休憩)	
	後半司会	町田 誠
15:35 - 15:55	「道路管理者の視点から～雪崩に備える～」 須藤 弘之 (国土交通省 長岡国道事務所 防災推進対策官)	
15:55 - 16:15	「今冬、魚沼地域に雪崩相次ぐ」 町田 敬 (長岡技術科学大学大学院)	
16:15 - 16:35	「数値モデルを用いた今冬の雪崩の発生予測」 平島寛行 (防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)	
16:35 - 16:55	(討議)	
16:55	閉会の辞	佐藤篤司 (日本雪氷学会北信越支部) 石坂雅昭 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

懇親会：17:30～19:30 (司会 早川典生)

割烹「魚藤」(長岡市表町1-10-6 Tel.0258-32-1465)

今年の雪 速報会 2009-10 準備委員会

早川典生 水環境技術研究会理事長、日本雪氷学会北信越支部

佐藤篤司 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター (前センター長)、日本雪氷学会北信越支部長

石坂雅昭 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター長、日本雪氷学会北信越支部、水環境技術研究会

熊倉俊郎 日本雪氷学会北信越支部、水環境技術研究会、長岡技術科学大学